

山地番変更等の住所変更後は届出を！

広島県内では、耕地や山地の重複地番を解消するため、法務局から該当対象者に対しては「地番変更通知書」が郵送されています。

この通知をもとに地番を変更された方で、当組合に届出された住所地の変更が必要となった場合には、お手数ですが、当組合宛に「届出事項変更届」と共にこれを証する書類の提出をお願いします。

届出用紙は、広酪のホームページの「組合員向け申請等様式」をクリックして、51行目の様式をダウンロードしてご活用下さい。



雪印種苗(株)飼料作物種子

「コモン種(=普通種)」の包装表示資材表示の変更

雪印種苗(株)の種苗法違反及び不祥事からの再発防止の取り組みにおいて、表示に関わる法令遵守にあたり、飼料作物種子の包装表示資材表示の変更が行われました。

該当する表示品種名とその変更、販売中止品種は次のとおりです。ご不明な点がございましたらご連絡下さい。

■対象品種

(1)包装表示資材表示の変更



従来表示	変更表示
ソルゴー コモン	ソルゴー テキサスグリーン
イタリアンライグラス コモン	イタリアンライグラス ガルフ
ペレニアルライグラス コモン	ペレニアルライグラス リン
アルファルファ コモン	アルファルファ ティムベール
クリムソンクローバー コモン	クリムソンクローバー ディクシー

(2)販売中止品種に伴う代替品種

販売中止品種	代替品種
トールフェスク	トールフェスク フォーン
ケンタッキーブルー コモン	ケンタッキーブルー ラトー
チモシー コモン	チモシー クライマックス
オーチャード コモン	オーチャード ポトマック
シロクローバー コモン	シロクローバー フィア

※表示のみの変更となり、使用原料の変更はありません。

廃プラ回収のお知らせ

10月16日~19日

平成30年度第3回目の回収を次の日程で行います。回収を希望される方は、最寄りの回収場所に時間厳守のうえお持ち込み下さい。

なお、回収日前日までには申込書を本所生産振興課、又は倉庫へ提出下さい。申込書は最寄りの各倉庫に備えておりますのでご連絡下さい。

■回収場所と日時

回収場所	回収日	回収時間
高宮ミルクボーイ	10月16日(火)	午前11時~午後3時迄
東部倉庫	10月17日(水)	
みわTMRセンター	10月18日(木)	
庄原倉庫	10月19日(金)	午前10時~正午迄

(一社)Jミルク リーフレットを酪農家に配布し啓発 生乳風味「自発性酸化臭」の実態理解と対策実践を！！



昨年、学校給食の牛乳において「いつもと違う味がする」「変な臭いがする」との児童・生徒からの指摘があり、「風味異常」として大きく報道されました。

その後も大きく報道はされていませんが同様の事態が散発しています。

広酪においても7月下旬、乳業者で風味等の官能検査にあたるスーパーパネラーからヨード液の臭いを疑うなどの指摘から、送乳した生乳の受入を断られました。

広酪では、この指摘に対して、送乳車両に合乳積載した生乳に関して複数の生産者の検体乳をもって、風味の追跡調査を行った結果、原因を疑う検体が存在し、この生乳を出荷した生産者に赴き搾乳立会にあたりました。

この結果、プレディッピングに使用する薬液について、原液が用いられ希釈が行われていなかったことが判明し、この改善にあたり解決に至りました。

広酪においても時折、風味に関する指摘が生じていますが、このほど、(一社)Jミルク作成のリーフレットでは、生乳の風味変化や異常事例の紹介、生産時の風味変化対策などが紹介されています。

広酪では、このリーフレットを9月14日に各生乳生産者宛てに配布しております。この内容に目通しのうえ、生乳風味への興味と関心を高められ、現状改善すべき点にお気づきの場合は、速やかな改善実践をお願いします。

10月より「収入保険」の 加入申請はじまる

豪雨・地震など 自然災害からライフラインが寸断 酪農経営のリスク補完に収入保険への加入を！！

広酪では、昨年12月4日から8日に亘り県内五箇所の会場にて組合員対象の地区懇談会を開催し、これには「NOSAI広島」から担当者を招き、平成31年1月1日からはじまる農業事業者を対象とする収入保険制度の概要等の説明にあたりました。

NOSAI広島では、平成30年7月から9月に亘り県内13箇所を会場に平成31年1月からの収入保険制度への加入希望者・加入検討者などを対象とした加入手続き及び制度内容に関する説明会を開催されました。

顧みて、今年7月に広島県や岡山県で甚大な被害をもたらした「西日本豪雨災害」や、9月の「北海道胆振東部地震」でも、電気、水道、道路などライフラインが閉ざされ、酪農家や物流業界などに大きな影響が及び、北海道の酪農家の中には、単独で1日当たり生乳



40トンの廃棄もニュースになりました。昨今、豪雨や地震など予期せぬ自然災害が何時襲来しても不思議では無い環境下にあります。

こうした有事の事象に対応出来る保険の一つが、収入保険制度であります。生乳出荷される組合員におかれましては、平成30年度に発生した自然災害を教訓に、酪農経営における収入減少のリスク軽減への備えとして収入保険制度への加入を今一度検討されては如何でしょうか。

広酪では、平成29年12月に発刊の「らくのうだより(No.285)」の特集記事で収入保険制度を紹介していますので、今一度、収入保険の概要をご確認下さい。